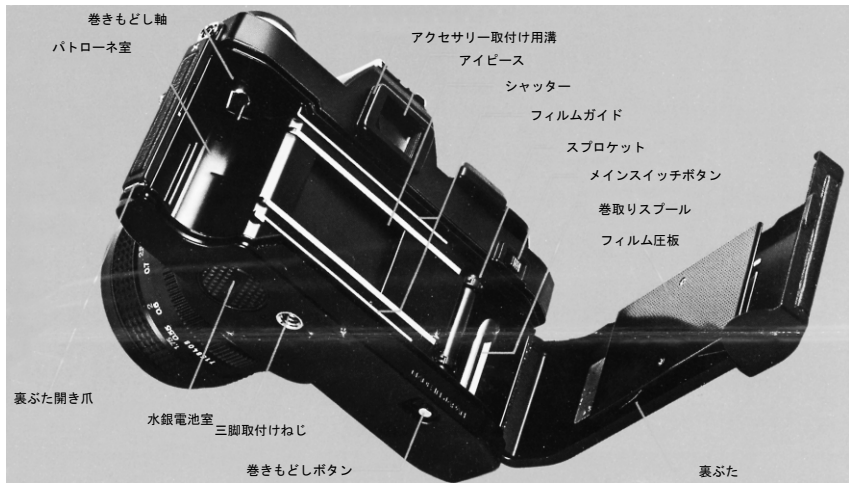
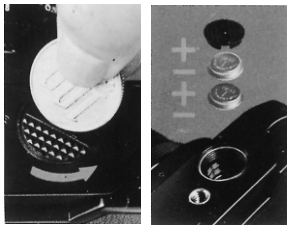
Konica ACOM-1

使用説明書

各部の名称

メータースイッチ ON 指標
ASA 感度表示窓※
巻上げレバー
ホットシュークリップ(X)
シャッター速度指標
シャッター速度目盛
シャッター速度ダイヤル
巻きもどしクランク
シンクロソケット(X)
巻きもどしノブ
ストラップ取付け金具
レンズ交換ボタン
レンズ着脱指標

シャッターボタン
フィルムカウンター
AE マーク
被写界深度目盛
セルフタイマーロックピン
セルフタイマーレバー
距離／絞り目盛指標
距離目盛
マニュアル絞り目盛
ヘキサノンレンズ
フォーカスリング
絞りリング
AE 解除ボタン

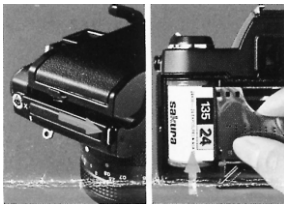
巻きもどし軸
パトローネ室
アクセサリー取付け用溝
アイピース
シャッター
フィルムガイド
スプロケット
メインスイッチボタン
巻取りスプール
フィルム圧板
裏ぶた開き爪
水銀電池室
三脚取付けねじ
巻きもどしボタン
裏ぶた

水銀電池の入れ方

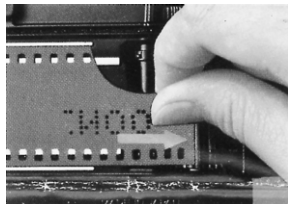
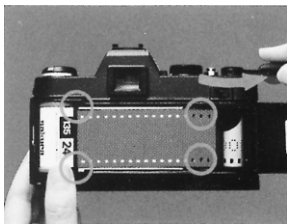
１）水銀電池室のふたを硬貨などで左(反時計方向)に回してはずし、付属の水銀電池1.35V(H-D型)を２コとも⊕マークを上にして重ねて入れてください。⊕⊖を間違えると、AEは働きません。
２）電池室のふたを、もとのようにしっかりねじ込んでください。

●水銀電池は乾いた布で拭いてから入れてください。電池は通常の使用状態で約１年もちます。明るい所でメーター指針が動かなくなったら、新品と取替えてください。
●カメラを使わないときは、メインスイッチボタンを押して巻上げレバーを格納し、メータースイッチを切っておいてください。

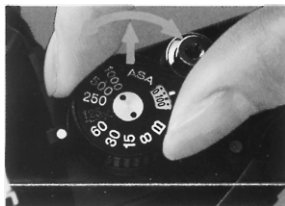
フィルムの入れ方

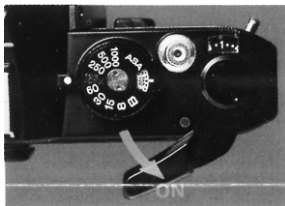
●このカメラには35 mm判のサクラカラーⅡ、サクラカラーR-100、サクラパンSSをご使用ください。サクラカラーⅡにはお徳用の24枚撮りがあります。感度はどれも使いやすいASA100です。

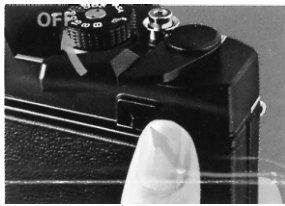
●フィルムの出し入れは、直射日光をさけ日陰で行なってください。

1）裏ぶた開き爪を引いて、裏ぶたを開きます。

2）パトローネ室の切込み個所からパトローネ(フィルム容器)を滑り込ませるように入れます。

3）パトローネからフィルムを少し引出して、その先端を巻取りスプールの入れやすい溝に差し込みます。

４）巻上げレバーを回し、スプロケットの歯にフィルムの穴が両側共かみ合い、また両外側のフィルムガイド内に正しく入っていることを確かめた上で、裏ぶたを確実に押しつけて閉じます。

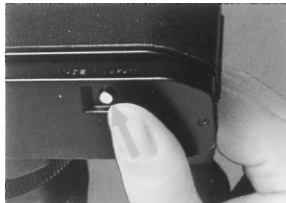
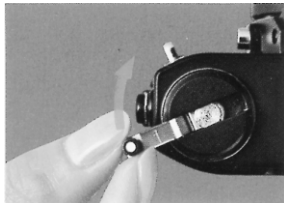
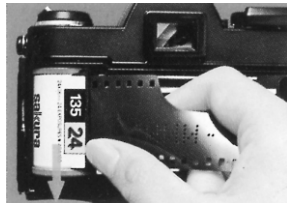
５）巻きもどしクランクを起し、クランク上の矢印の方向に、静かに止まるまで回し、パトローネ内のフィルムのたるみをとります。

６）巻上げレバーを止まる所まで回し、シャッターボタンを押す操作を繰返し、フィルムカウンターに１を出します。フィルムが正しく送られていれば、巻きもどしノブが左(反時計方向)に回ります。

ASA感度の合わせ方

シャッター速度ダイヤルの外側を持ち上げて回し、ASA感度表示窓の指標に使用フィルムの感度を合わせ、落し込んでセットします。

メーターON-OFFスイッチ兼シャッターボタン安全ロック機構

巻上げレバーを軽く引出すと、メータースイッチON指標の赤点が現われ、スイッチが入ります。
カメラを使わないときは、レバー下のメインスイッチボタンを押せば、レバーが格納され、スイッチが切れ、同時にシャッターボタンがロックされます。電池の寿命をのばし、不用意にシャッターをきることを防止する安全機構です。

写し終わったら　巻きもどして裏ぶたを開けフィルムを取出します

●最後の撮影で巻上げレバーが途中で止ったら､巻きもどしボタンを押しながら完全に巻上げたのち、レバーをもどしてください。

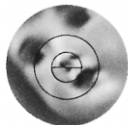
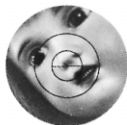
●写し終ったフィルムはお早目にカメラ店へお持ちください。

1）フィルムのきまった枚数を写し終ったら、カメラ底部の巻きもどしボタンを押し込みます。

2）巻きもどしクランクを起して矢印の方向に回すと、フィルムがパトローネに巻きもどされます。

3）手ごたえが急に軽くなって、巻きもどしボタンの回転が止まったらフィルムを取出します。

カメラを構え、ピントを合わせます

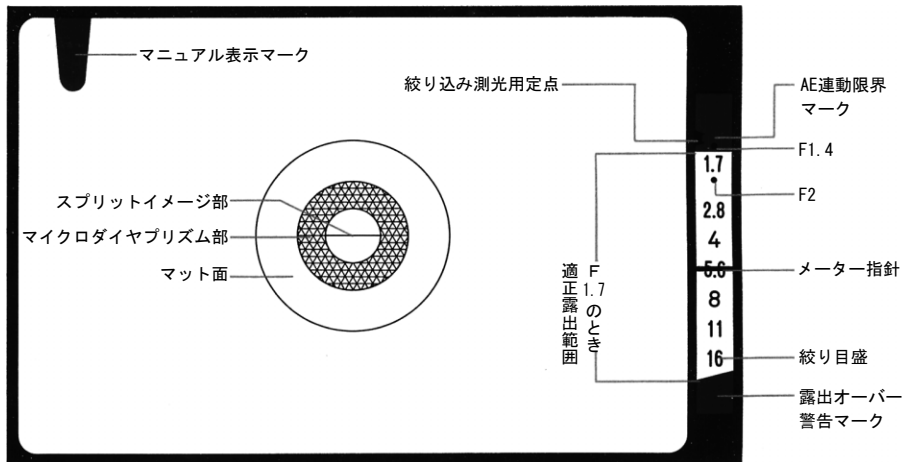
カメラは両手でしっかり持って、軽く顔に押しつけ、支える側のひじを体にあてて安定した姿勢で静かにシャッターボタンを押し下げます。横位置と同様に縦位置の構え方も練習してください。

●低速シャッターを用いるときや望遠撮影のときは、手持ちではカメラぶれを起しやすいので、三脚とケーブルレリーズのご使用をおすすめします。

ピントの合わせ方

フォーカシングスクリーンは中心部がスプリットイメージ式、その周囲の円がマイクロダイヤプリズム式で、どちらでもピントが合わせられます。スプリットイメージ部は上下に分割された像が一つに見えるように合わせます。マイクロダイヤプリズム部はギザギザの像が消えて被写体がはっきり見えるように合わせます。

合っていないとき

合っているとき

ファインダーと露出の確認

●**適正露出範囲**・AE撮影でメーター指針が適正露出範囲内にあるときは、適正絞り値を示し、実際にその絞り値に絞り込まれます。

●**AE連動限界マーク**・AR(自動絞り)レンズをボディに取付けると、自動的にAE連動限界マークが現われ、使用レンズの撮影範囲を示します。この赤マークに指針があるときは露出不足になります。

●**マニュアル表示マーク**・AE機構を解除してマニュアル撮影に切替えたとき現われます。

●**絞り込み測光用定点**・絞り込み測光ではここに指針を合わせます。

1.7 • 2.8 4 5.6 8 11 16

露出不足

1.7 • 2.8 4 5.6 8 11 16

露出オーバー

AE 露出の調節

AE 撮影で指針が上側の赤マークにあるときは、シャッター速度を遅くし、指針が下側の赤マークにあるときはシャッター速度を速くして、指針を赤マークから離した上で撮影してください。

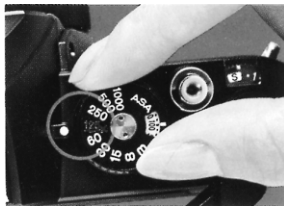
メーター連動範囲

使用フィルムの ASA 感度によって、メーター連動範囲が下表のように変ります。ASA100 の場合は全速度に連動します。(□連動、■連動せず)

シャッター速度 / ASA感度	8	15	30	60	125	250	500	1000
25 …… 200	□	□	□	□	□	□	□	□
250 …… 400	■	□	□	□	□	□	□	□
500 …… 800	■	■	□	□	□	□	□	□
1000 … 1600	■	■	■	□	□	□	□	□

AE 撮影

開放測光

１）絞りリングを回し、AEマークを指標にセットします。AEロックが入り確実に固定されます。

２）シャッター速度ダイヤルを回し、シャッター速度目盛を指標にセットします。標準速度は屋外で1/125秒、室内で1/30秒程度です。

３）被写体にカメラを向けてファインダーをのぞき、構図を決め、ピントを合わせ、視野内のメーター指針が適正露出範囲内にあることを確認した上で、シャッターをきります。

●絞りから先に決めたいときは、ファインダーをのぞきながらシャッター速度ダイヤルを回し、指針が希望の絞り値を示すように調節すればよく、絞り優先も簡単です。

レンズの交換

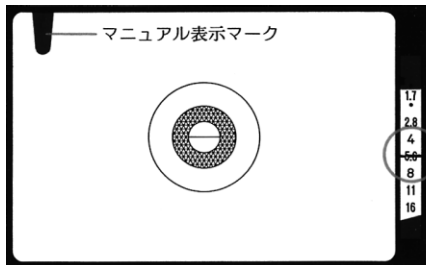
レンズを取りはずすには

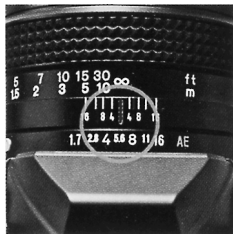
レンズ交換ボタンを押しながら、レンズを持って左（反時計方向）に回し、レンズの赤点とボディのレンズ着脱指標（赤点）が合った位置で引出します。

レンズを取付けるには

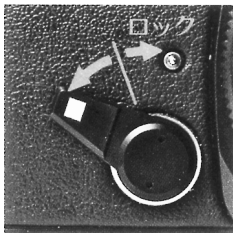
レンズの赤点とボディのレンズ着脱指標（赤点）を合わせて静かにはめ込み、レンズを持って右（時計方向）に、カチッと音がして止まるまで回してください。

●レンズ面やボディ内部はさわらないでください。

マニュアル撮影

フラッシュ撮影やB(バルブ)露出の場合は、AE解除ボタンを押しながら絞りリングを回して、指標からAEマークをはずし、マニュアル絞り目盛にセットします。

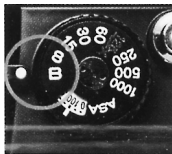
マニュアル撮影のときもTTLメーターはフィルム感度、シャッター速度(Bは除く)、レンズの明るさに連動しているので視野内メーターを利用できます。

指針が示す適正絞り値を読み取って、絞りリング上のマニュアル絞り目盛をセットすれば適正露出が得られます。

●マニュアル撮影に切替えますと、ファインダー視野内に赤色のマニュアル表示マークが現われ、AEでないことをはっきりと指示します。

セルフタイマー撮影

セルフタイマーレバーを左（反時計方向）にいっぱいに回し、シャッターボタンを押すと約10秒後にシャッターがきれます。セルフタイマーのセットは、巻上げの前でも後でも構いません。レバーのセット角を少なくして、シャッターがきれるまでの時間を短縮することができます。

●セルフタイマーはAE撮影、マニュアル撮影、フラッシュ撮影のいずれの場合にも使えます。

●ご使用後は不用意に動かさぬようセルフタイマーレバーをロックピンに押し込んでください。

Ｂ（バルブ）露出

シャッター速度ダイヤルをＢにセットし、シャッターボタンを押すと、押している間はシャッターが開いています。

マニュアル絞りに切替えて、希望の絞りを決め、長時間露出を行なうことができます。ただしカメラぶれ防止のため、三脚とケーブルレリーズが必要です。

●コニカケーブルレリーズ３のＴストッパーを使えば、Ｔ（タイム）露出もできます。

定点による絞り込み測光

AEマークの付いたヘキサノンARレンズはAE撮影でもマニュアル撮影でも開放測光ができますが、次の場合は絞り込み測光で露出を決めてください。

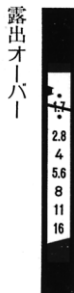
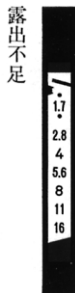
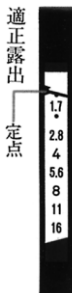
１）手動プリセットのARPレンズ、手動クリック絞りのARMレンズを使用するとき。

２）エクステンションリングやベローズなどの使用で、自動絞りが使えないとき。

３）レンズマウントアダプターで、他社製レンズを使用するとき。

適正露出
定点
1.7 2.8 4 5.6 8 11 16

露出不足
1.7 2.8 4 5.6 8 11 16

露出オーバー
1.7 2.8 4 5.6 8 11 16

露出の決め方

絞り込み測光のときは、ファインダー視野内の絞り目盛は使用できません。絞りリングまたはシャッター速度ダイヤルを回し、絞り込み測光用定点にメーター指針を合わせると、適正露出にセットされます。指針が定点より上にあれば露出不足、下にあれば露出オーバーですから、絞りまたはシャッター速度で調節してください。

●絞り込み測光はアイピースからの逆流光の影響を受けやすいので、アイカップを使うなどして逆流光を防いでください。

●指針の振れが遅いので、完全に指針が定点に合ったことを確認してから撮影してください。

●顕微鏡撮影も絞り込み測光で行ないますが、絞りがないのでシャッター速度か光源の明るさで調節してください。

シャッター速度の選択

$\frac{1}{30}$秒

$\frac{1}{500}$秒

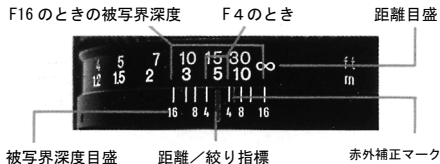
シャッター速度はB・1/8〜1/1000秒まであり、ダイヤルには速度の分母が目盛られています。赤数字の125Xは、ストロボ同調の最高速度を示しています。速度目盛の中間は使えませんから、かならずクリック位置でセットしてください。

速度選択の基準

コニカエイコム１は、被写体の明るさだけでなく、相手の動きやねらいに応じて自由にシャッター速度を選べる理想的なシャッター速度優先方式のAEカメラです。シャッター速度は一般に屋外で1/125秒、室内では1/30秒にセットすればいいのですが、動きのある被写体に対しては、次のような決め方をしてください。

１）動きを写し止めたい場合・1/250〜1/1000秒の速い速度を選びます。

２）動くものをブラして動きを強調したい場合・1/8〜1/30秒の遅い速度を選びます。

絞りと被写界深度

被写体にピントを合わせたとき、その前後に十分鮮鋭に写る範囲があり、これを被写界深度といいます。被写界深度は、①絞りの数値が大きいほど、②遠距離になるほど、③レンズの焦点距離が短いほど深くなり、またピント位置より、前方に浅く後方に深くなる性質があります。その具体的な範囲は、レンズの被写界深度目盛、さらに詳しくは被写界深度表をごらんください。

被写界深度目盛の見方

各レンズの被写界深度目盛には、距離指標の両側に絞りと同じ目盛があり、この絞り値に対応する範囲が鮮鋭に写ることがわかります。例えば50㎜F1.7で距離５ｍのとき、F4では４～６ｍ、F16では３ｍ～∞（無限遠）が深度内にあることがわかります。またＲ（赤線）は赤外補正マークで、赤外撮影時にピント位置をずらすための指標です。

露出記憶装置の使い方

コニカエイコム１のTTL-AEは、一般撮影で正確な露出が得られますが、逆光線撮影や主要被写体に対して周辺の明暗差が極端な場合、あるいは特殊効果を出すといった撮影には、露出記憶装置を使用して露出補正を行ない効果をあげることができます。また、このような特殊条件で連続撮影するときは、フィルム感度目盛をあらかじめ補正する方法が便利です。

逆光線で被写体が背景に対し極端に暗い場合

AEが明るいバックに感じて、被写体に対しては露出不足になることがあります。このようなときはカメラを下向きにしてシャッターボタンを軽く一段押して、メーター指針を止めたまま被写体に向け直してシャッターをきります。

また、フィルム感度目盛による補正は、目盛を半分(ASA100ならASA50)にセットして撮影します。

被写体だけが明るく周囲が暗い場合

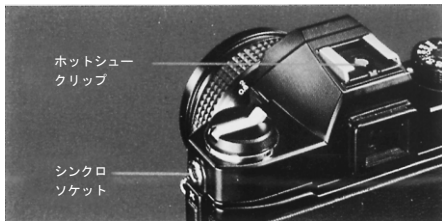
周囲の影響を受けて被写体が露出オーバーになることがあります。こういうときは30cmほど離した自分の手のひらにカメラを向け、シャッターボタンを軽く一段押してメーター指針を止めたまま、前の手をどけてシャッターをきります。被写体に近づいて測ることができればなお結構です。

また、フィルム感度目盛による補正は、目盛を２倍(ASA100ならASA200)にセットして撮影します。

●フィルム感度目盛の補正による撮影を終ったら、必ずもとの目盛にもどしておくことを忘れないでください。

フラッシュ撮影

AE撮影のできない夜間や暗い室内、あるいは昼間でも補助光の必要な撮影には、フラッシュ撮影をおすすめします。フラッシュ撮影には1/125秒まで同調し連続撮影ができるストロボが便利ですが、フラッシュバルブ(フラッシュキューブ)を使うこともできます。

ストロボは自動調光のコニカオートストロボX-28、コンパクトタイプのコニカX-20、コニカX-14のどれかをお使いください。

コードレス式の取付け

コニカX-28、X-20、X-14のようなホットシューのストロボは、ホットシュークリップに取付けただけで、電気的接続は完了し、そのままフラッシユ撮影ができます。

コード式の取付け

小型ストロボはホットシュークリップに、大型ストロボは三脚ねじを使って横に取付け、コードのプラグをカメラ側面のX接点に接続します。

露出の決定

フラッシュを主光源とするフラッシュ撮影では、AEは使えませんから、マニュアル絞りに切替えてください。一般に絞り値は、使用ストロボ(フラッシュバルブ)のガイドナンバーを、撮影距離で割って求めます。例えば、ストロボのガイドナンバーがASA100で20、撮影距離５mのときは、20÷５＝４となり、F4に絞れば適正露出が得られます。シャッター速度はストロボで1/125秒、フラッシュバルブで1/30秒またはそれ以下を選んでください。

コニカオートストロボX-28のような自動調光式ストロボの場合は、使用ストロボのオート連動範囲に対応する絞り値をセットします。

フラッシュ同調表(□…同調　■…同調せず)

接点	シャッター速度 / フラッシュ	B	8	15	30	60	125	250	500	1000
X	ストロボ	□	□	□	□	□	□	■	■	■
X	M級バルブ	□	□	□	□	■	■	■	■	■
X	MF級バルブ(フラッシュキューブ)	□	□	□	□	■	■	■	■	■

ご注意

●カメラ店、電気店で新しい水銀電池をお求めの際は、かならず使用済みの電池と引換えてください。電池は完全シールなので中身が洩れませんが、身近かな水銀汚染の防止にご協力ください。

●カメラとレンズの金属部を拭くときは、まずハケやブロワー(ゴム球)などでゴミやホコリを取除き、乾いた柔らかい布でよく拭いてください。

●ミラーの表面やフィルム室を清掃するときは、柔らかいハケやブロワーを使用し、直接ミラーやシャッターにはさわらないでください。

●カメラとレンズはホコリや湿気をきらいます。ホコリの少ない乾燥した所に置いてください。長期間使わないときは、カメラをケースから出して水銀電池を抜き、シリカゲル(乾燥剤)といっしょにポリエチレン袋に入れ、密封して保存するのがいちばん安全です。

被写界深度表（50 mm F1.7・50 m F1.4）

許容錯乱円直径 3/100 mm（単位m）

距離 / 絞り	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	1.0	1.2	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	∞
F1.4	0.44~0.45	0.49~0.50	0.59~0.61	0.69~0.71	0.79~0.81	0.98~1.02	1.17~1.22	1.46~1.54	1.93~2.07	2.85~3.16	4.60~5.46	8.46~12.01	56.42~∞
F1.7	0.44~0.45	0.49~0.50	0.59~0.61	0.69~0.71	0.79~0.81	0.98~1.01	1.17~1.23	1.45~1.54	1.92~2.08	2.82~3.19	4.51~5.56	8.16~12.47	46.41~∞
F2	0.44~0.45	0.49~0.50	0.59~0.61	0.69~0.71	0.78~0.81	0.98~1.02	1.17~1.23	1.45~1.55	1.91~2.09	2.80~3.22	4.45~5.65	7.96~12.96	40.62~∞
F2.8	0.44~0.45	0.49~0.51	0.59~0.61	0.68~0.71	0.78~0.82	0.97~1.03	1.15~1.24	1.43~1.57	1.88~2.13	2.73~3.32	4.27~5.97	7.39~14.83	29.04~∞
F4	0.44~0.46	0.49~0.51	0.58~0.61	0.68~0.72	0.77~0.83	0.96~1.04	1.14~1.26	1.40~1.60	1.83~2.20	2.63~3.48	4.03~6.54	6.68~18.94	20.35~∞
F5.6	0.44~0.46	0.48~0.51	0.58~0.62	0.67~0.73	0.76~0.84	0.94~1.06	1.12~1.29	1.37~1.65	1.77~2.29	2.51~3.73	3.74~7.47	5.92~30.11	14.56~∞
F8	0.43~0.46	0.48~0.52	0.57~0.63	0.66~0.74	0.75~0.85	0.92~1.09	1.09~1.34	1.32~1.73	1.69~2.44	2.35~4.16	3.39~9.54	5.06~270.12	10.22~∞
F11	0.43~0.47	0.47~0.52	0.56~0.64	0.65~0.75	0.73~0.87	0.90~1.13	1.05~1.39	1.27~1.83	1.60~2.66	2.17~4.89	3.03~14.61	4.29~∞	7.46~∞
F16	0.42~0.48	0.47~0.53	0.55~0.66	0.63~0.78	0.71~0.91	0.86~1.20	1.00~1.51	1.19~2.04	1.48~3.15	1.94~6.90	2.58~138.38	3.43~∞	5.16~∞

コニカエイコム１のおもな性能

型式：35㎜フォーカルプレーン式TTL-AE一眼レフレックスカメラ
使用フィルム：35 ㎜フィルム(J135)パトローネ入り
画面サイズ：24×36 ㎜
標準レンズ：ヘキサノンAR50㎜　F1.7(５群６枚)ヘキサノンAR50㎜F1.4(６群７枚)ヘキサノンAR57mm　F1.2(６群７枚)カラーダイナミックコーティング　AEロック機構付至近撮影距離(F1.7) 0.55m(F1.4、F1.2) 0.45 m
マウント：バヨネット式コニカマウントⅡ型
直径47 ㎜、フランジバック40.5 ㎜
絞り機構：AE式完全自動絞り　最小絞りF16
シャッター：上下走行式メタルフォーカルプレーン　コパルスクエアコンパクトシャッター　Ｂ・1/8〜1/1000秒
シンクロ：ホットシューとシンクロソケット付　Ｘ接点ストロボ1/125秒まで同調　Ｍ、FP、MF級1/30秒以下
セルフタイマー：内蔵　作動秒時可変式４〜10秒
ファインダー：ペンタプリズム使用アイレベルファインダー倍率0.91倍(50㎜レンズ∞)、視野率90%　スプリットイメージとマイクロダイヤプリズムおよびマット面併用による実像合致式
視野内表示：メーター指針、絞り値、露出警告マーク、AE連動限界マーク、マニュアル表示マーク、絞り込み測光用定点
ミラー：前端垂直上昇式クイックリターンミラー
露出調節：TTL完全自動露出　超高感度複合CdS ２個による可変測光方式　AE連動限界自動補正機構付
AE式完全自動絞りレンズ(開放測光)：AE撮影はシャッター速度優先　適正絞り自動制御式、マニュアル撮影はフィルム感度、シャッター速度、レンズの開放Ｆ値に連動する適正絞り値直読式
普通絞りレンズ(絞り込み測光)：フィルム感度、シャッター速度、絞りに連動する定点合わせ式(ゼロメソッド式)
AE連動範囲：ASA100でEV3.5(F1.2・1/8秒)〜EV18(F16・1/1000秒)
フィルム感度範囲：ASA25〜1600
メーター電源：H-D型1.35Ｖ水銀電池２個使用
スイッチ：巻上げレバーと連動(引出し位置でON、メインスイッチボタンを押してOFF、同時にシャッターボタンロック)
露出記憶装置：シャッターボタンに組込み
フィルム装てん：コニカイージーローディング方式
フィルム巻上げ：中折れ式トップレバーによる１作動(巻上げ角135°引出し角22.5°)二重露出防止装置付
フィルムカウンター：自動復元順算式
フィルム巻きもどし：クランク式　巻きもどしボタン自動復元
大きさ・重さ：F1.7付　　幅136×高さ90×厚さ85 ㎜・720g
ボディのみ　幅136×高さ90×厚さ45 ㎜・510g
●仕様、外観は予告なく変更することがあります。